

(別記) 様式2号 (第3条関係)



平成30年3月29日

南丹市議会議員 松尾 武治 様
(市議会議長経由)

南丹市長 佐々木 稔納



文書質問回答書

平成30年1月11日付0南議第19号で南丹市議会議長より送付のあった文書質問書について南丹市議会文書質問実施要綱第3条第5項の規定により下記のとおり回答します。

記

質問者名	松尾 武治議員	担当課	総務部総務課
質問事項	原子力災害時における避難経路について		
質問内容	原子力災害時における避難経路については、地域住民を加えた検討会を開催するなど実効性のある避難経路を示す必要があると考えるが市の見解を伺う。		
	・原子力災害時における避難経路等を含む「緊急時対応」については、内閣府及び関係府県及び関係市町村で協議して策定される。 ・美山町内における避難経路については、内閣府と福井県、また京都府を交えた中で、その検討方法も含め、今後、調整していきたいと考える。		

別記) 様式2号 (第3条関係)



平成30年3月29日

南丹市議会議員 松尾 武治 様
(市議会議長経由)

南丹市長 佐々木 稔納



文書質問回答書

平成30年1月11日付0南議第19号で南丹市議会議長より送付のあった文書質問書について南丹市議会文書質問実施要綱第3条第5項の規定により下記のとおり回答します。

記

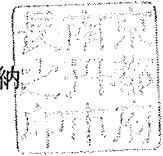
質問者名	松尾 武治議員	担当課	総務部総務課
質問事項	原子力災害に対する市長の認識について		
質問内容	<p>防災に関する国と地方の役割分担は、災害対策基本法、更に原子力災害対策特別措置法でそれぞれ示され、基本理念に沿った計画を作成し、それを実施する責務は、基礎的自治体の責務とされ、原子力災害においても基本的に準ずることが示されている。</p> <p>原子力災害に対する市の姿勢は軽薄であることから市民の皆様は法等で国が示していることを踏まえた市の責務を明確に示すことで市民の皆さんが不安に思われることも回避できると考えるが見解を伺う。</p>		
	<p>・防災行政は住民に密接した行政であり、住民の安心・安全を確保することは市町村の責務であると考ええる。</p> <p>・今後、原子力災害をはじめとした様々な災害に対して、市として調査・研究を進め、対策を検討することはもとより、住民への情報提供等にも取り組んでいきたいと考える。</p>		



平成30年3月29日

南丹市議会議員 松尾 武治 様
(市議会議長経由)

南丹市長 佐々木 稔納



文書質問回答書

平成30年1月11日付0南議第19号で南丹市議会議長より送付のあった文書質問書について南丹市議会文書質問実施要綱第3条第5項の規定により下記のとおり回答します。

記

質問者名	松尾 武治議員	担当課	総務部総務課
質問事項	安定ヨウ素剤の事前配布について		
質問内容	<p>安定ヨウ素剤の事前に配布においては自治体の判断で適切な措置が行える部分を設けているが、先の市長答弁では、国の考え方の一部を述べられるにとどまった。</p> <p>原子力災害発生時の市民の不安を考える時に自治体の責務を置き去りにした発言は市民の不安をあおることになると考えるが見解を伺う。</p>		
	<ul style="list-style-type: none">・市は地域住民を安全に避難させ、迅速に、そして適切なタイミングで安定ヨウ素剤を配布するための体制を整備する責務があると考えている。・現在、南丹市地域防災計画では国の指針に基づき、それぞれの避難ルート上にある美山町内の4カ所を緊急配布場所として指定し、医師等の指導のもと、適切な量を適切なタイミングで配布、服用できるよう計画を定めている。・また、その他避難に時間を要する要配慮者が入所される福祉施設等へも現在、安定ヨウ素剤の分散配置を順次進めているところである。		



平成30年3月29日

南丹市議会議員 松尾 武治 様
(市議会議長経由)

南丹市長 佐々木 稔納



文書質問回答書

平成30年1月11日付0南議第19号で南丹市議会議長より送付のあった文書質問書について南丹市議会文書質問実施要綱第3条第5項の規定により下記のとおり回答します。

記

質問者名	松尾 武治議員	担当課	総務部総務課
質問事項	防災計画に「見識の高い市民の声」を反映する手段について		
質問内容	<p>見識の高い市民の皆さんを含めた委員会等を設置することで、原子力防災に対する市民の皆さんの不安を取り除き「市民の安心・安全を守る観点」の実効ある防災計画と計画に基づく避難訓練に繋がると考えるが見解を伺う。</p> <p>・防災訓練等に、より多くの市民の参加を促し、さらに実効性の高い計画に改善と改良を重ねていくとともにそれら計画の策定にあたっては、何らかの形で市民の声を反映できるような方法を検討していきたいと考える。</p>		